

古典入門① 『枕草子』

次の清少納言『枕草子』の一節を読んで、あとの問いに答えなさい。

夏は夜。月の頃はさらなり。やみも(1)なほ、ほたるの多く飛び(2)ちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも(3)をかし。雨など降るもをかし。

一、(1)～(3)を現代かなづかいになおしなさい。

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | () | (2) | () |
| (3) | () | | () |

二、(3)「をかし」の意味ともっとも適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① あやしい
- ② 興味深い
- ③ 笑いたくなる
- ④ 悲しくなる

答え

- 一、(1) なお (2) ちがいたる (3) おかし 二、②

解説

歴史的かなづかいの原則

は・ひ・ふ・へ・ほ わ・い・う・え・お

ゐ・ゑ・を い・え・お

ぢ・づ じ・ず

む ん

例 やむごとなく||やんごとなく

くわ・ぐわ か・が

例 くわじ||かじ えいぐわ||えいが

ア段十う (ふ) オ段十う

例 まうす||もうす

イ段十う (ふ) イ段十ゆう

例 うつくしう||うつくしゆう

エ段十う (ふ) イ段十よう

例 せうそく||しょうそく